Course Map

ふらっと さがしまわり

since 2020

"FLAT" SAGAshi-Mawari

ひがしよかとこめぐりサイクリングコース

佐賀市南部エリア

ロゴ提供：佐賀市

東よか干潟へのアクセス

このサイクリングコースガイドは、佐賀市の令和3年度東よか干潟ワイズユース推進事業により、NPO法人みなくるSAGAが編集・印刷したものです。

監修：日本野鳥の会佐賀県支部・佐賀自然史研究会

問い合わせ先

NPO法人みなくるSAGA

（鳥瞰図作画：平山　写真撮影：山口）

©2022 NPO法人みなくるSAGA

日本一を見て
感じる東よか干潟

有明海の日本一の干満差と広大な干潟が育む命

⑭ 大潮満潮時の東よか干潟シチメンソウヤード

⑮ 干潮時に現れる広大な干潟（5~7㎞先まで広がる）

⑭ 赤く紅葉したシチメンソウ（見頃は、10月下旬~11月初旬）

⑭ 水が嫌いなトビハゼ（得意技：高速ハイハイと水面連続ジャンプ）

⑭

⑮ 干潟でエサを獲るシギ・チドリ

⑭ 干潟からシチメンソウヤードへ避難したシギ・チドリ（大潮満潮時）

東よか干潟ビジターセンター 「ひがさす」案内

⑫

◇開館時間
9:00~17:00
◇休　館　日
月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始
◇入館料　　無料

◇展望フロアー（地上13mの360°パノラマ展望）
干潟や干拓地風景、水鳥観察など（無料双眼鏡）
◇展示エリア
干潟の価値や魅力を体感し、未来へつなぐ展示
ひがたのシアター、干潟と野鳥、生きもの、干潟と暮らしゾーン
◇交流スペース
情報発信・物販（コーヒー）コーナー・干潟のライブ映像など

東与賀町の概要とコースの魅力

東与賀町は、佐賀市の南部にあり、南は有明海に面し、最南端の東与賀海岸堤防からは広大な東よか干潟とその背後に広がる干拓地が望めます。町のほとんどが室町時代以降に干拓された土地です。

東よか干潟は、有明海の湾奥に広がる泥干潟で、筑後川・嘉瀬川・六角川などから粘土粒子や栄養分が干潟にたくさん供給され、干潟は今も広がり続け、多様でたくさんの生き物の命を育んでいます。

日本一のシギ・チドリ類の渡来地となっている東よか干潟は、 2015年5月に国際的に重要な湿地として、ラムサール条約湿地に登録されました。

【東よか干潟（有明海）と干拓地の魅力】

- 日本一の干満差 最大約6mと日本一の干潟面積
  約188㎢（全国の干潟面積の約4割）【有明海】
- 日本一の養殖海苔生産量【有明海】
  と干潟の漁風景（潟スキーによる漁）
- 日本一のシギ・チドリ類の渡来地【東よか干潟】
  2020年度春期（大授搦）最大個体数14,763羽
  出典：モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査2020年度春期調査報告
- 日本一のシチメンソウ（塩生植物）の群生地【東よか干潟】
- 干潟が育む多様な生き物（水鳥、魚、カニ、貝など）
  （ムツゴロウやワラスボなどの有明海・八代海固有種も生息）
- 今も広くなるとともに、高くなっている干潟
  （干潟に埋没する港跡の防波堤で実感）
- 広大な干拓地風景
- 干拓地が育むいろんな農産物
- 干拓地に残る石積みの美しい干拓堤防
  （土木学会選奨土木遺産）などの干拓遺構
- 干拓地の水の歴史（排水機場・水門・河川など）
- 干拓の歴史を物語る神社・仏閣など

※「東与賀干拓の進展図」の出典について
この東与賀干拓の進展図は、東与賀海岸堤防に設置してある案内板に、掲載されている「東与賀町の干拓の進展」図を加工して作成しています。

魅力ポイント

①佐賀市東与賀支所（町の中心地で、周辺には食堂などもある）
②八田江（「江湖」と呼ばれる水源をもたない感潮河川：排水河川の役割）
③八大龍王宮（海の守り神：龍造寺隆信が暴風雨被害の巡視後、建立）
④搦の山（高さ5m程の築山で、龍王と金毘羅さんを祭る：水と航海の神）
⑤八田江排水機（ポンプ）場（八田江の内水を有明海へ排水）
⑥八田江防潮水門（高潮や大雨などの被害を防ぐ）
⑦広江漁港（八田江の川港：漁船数386隻【2012年】、海苔養殖）
⑧東与賀排水機（ポンプ）場（大授搦の内水を有明海 へ排水）
⑨広江港口灯台（高さ7.6m 灯高13mの赤い灯台）
⑩干潟よか公園（家族で楽しめる大型遊具が充実した公園）
（漏斗谷造りの萱葺き民家の「紅楽庵」・じゃぶじゃぶ池・遊具・おもしろ自転車など）
⑪シギの恩返し米栽培水田（冬水田んぼ、魚道、生き物観察会）
⑫東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」（東よか干潟観光の拠点施設）
⑬双眼鏡展望台（3台設置、車椅子と子供用各1台設置の2ヵ所）
⑭シチメンソウヤード（東西1.6km：シチメンソウや干潟の生き物観察）
⑮有明海（東よか干潟：広大な干潟と潮位変化、野鳥観察、漁や海苔養殖）
⑯干潟に埋没する港跡の防波堤（干潟の広がりと高まりを実感）
⑰東与賀排水機（ポンプ）場（第二戊辰搦の内水を有明海へ排水）
⑱アスパラガス農園（農家交流施設があり、収穫時期2月~10月）
⑲戊辰川排水機（ポンプ）場（戊辰川の内水を有明海へ排水）
⑳本庄江河口の港とシチメンソウ群生地（紅葉の時期が少し遅れる）
㉑本庄江（「江湖」と呼ばれる水源をもたない感潮河川：排水河川の役割）
㉒本庄江防潮水門（高潮や大雨などの被害を防ぐ）
㉓佐賀市下水浄化センター（バイオマス産業都市さが：下水プロジェクト）
【消化ガス発電、下水由来の肥料、処理水の活用、CO_2回収と活用など】
㉔松土居公園（江戸時代初期の堤防跡、当時の面影を残す松並木）
㉕住吉神社（住吉地区の守り神：フジの名木やケヤキの大木）
㉖ハクモクレンの並木（0.5kmのクリーク沿いの並木で、見頃は3月中旬）
㉗下飯盛八幡神社（東与賀の守り神：ケヤキの名木やクスノキの大木）
㉘開田庵（干拓の歴史を伝える寺：当時の潟地を田畑に築いた際に建立）

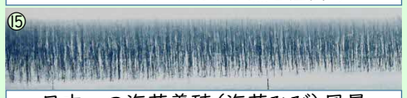
干潟を未来につなぐ

干潟を理解、活用、再生・保全、そして次世代へつなぐ

ムツゴロウのタカッポ漁と仕掛け

潟スキー・ワラスボ掻き漁師との交流

大雨や台風後の海岸漂着ごみ


日本一の海苔養殖（海苔ひび）風景

シチメンソウや干潟の生き物観察会

シチメンソウの保全活動（種採取）

広江漁港と有明海の広江港口灯台

観察会（野鳥など）や清掃活動についての情報は、東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」で入手できます。

海岸清掃活動

干拓地と堤防をめぐる

干拓遺構と干拓の歴史物語（先人達の知恵）

松土居の面影を残す松並木（松土居公園）

大授搦（東与賀最大の干拓地300ha）

第二戊辰搦（戦後の干拓地）

授産社搦堤防（二線堤防としての役割）

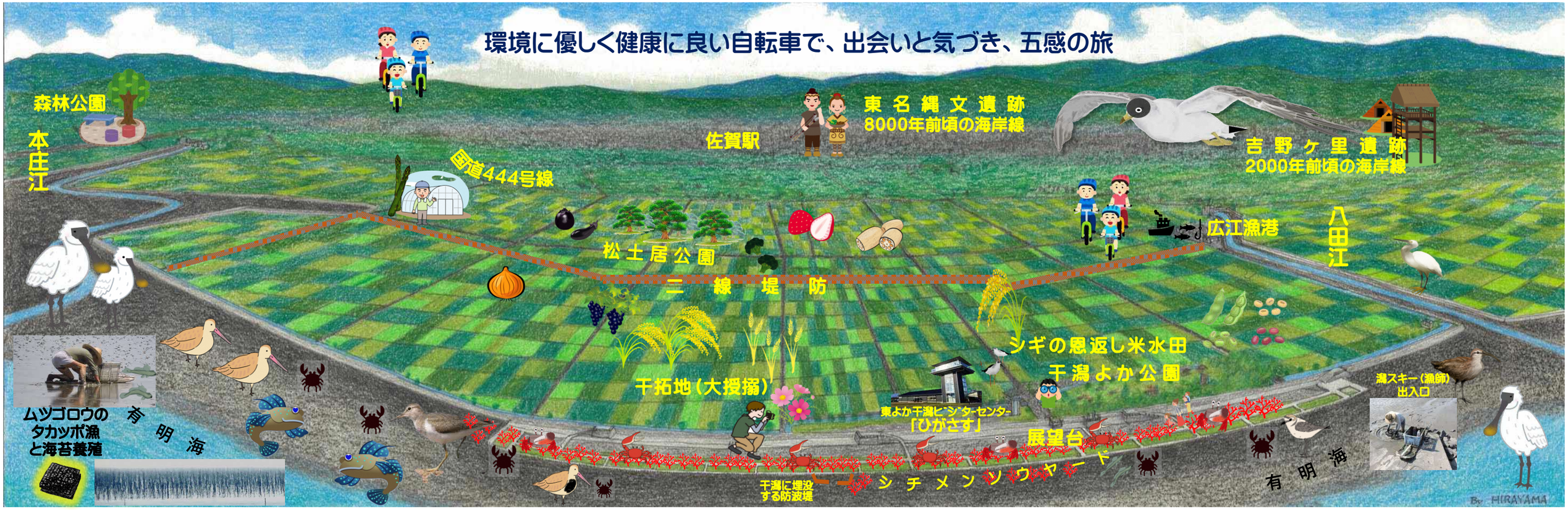
授産社搦（明治時代の干拓地66ha）

下飯盛八幡神社（東与賀の守り神）

大搦堤防（二線堤防としての役割）

大搦（明治時代の干拓地70ha ）

住吉神社（住吉地区の守り神）



干拓地の水の歴史をめぐる

干拓地の水の歴史物語（先人達の知恵）

八大龍王宮（水と海の守り神：干拓地に多い）

八田江の防潮水門（高潮や大雨などの被害を防ぐ）
と右：八田江排水機場（最大毎秒60トンの水を有明海へ排水）

東与賀排水機場
（大授搦の内水を排水）

搦の山（龍王社）明治時代に青年団が築いた高さ5m程の山で、船の目印、高潮時の避難場所

本庄江の防潮水門
（高潮や大雨などの被害を防ぐ）

左：八田江と右：本庄江（排水河川の役割 ）

干拓地のクリーク網（用水・貯水・排水の役割）

干拓地の景観を未来につなぐ

干拓地のワイズユース（農家交流サイクリングなど）

「ひがさす」展望塔からの干拓地（大授搦）麦秋風景

アスパラのび太のアスパラガス農園と農家交流施設

農家交流サイクリング

シギの恩返し米栽培水田（冬水田んぼ・シギ類のえさ場）

農園主との交流（アスパラの栽培・規格外品の処理の話・収穫体験・アスパラ料理）